

あなたはどんな答えを出すのか？

PTA主催

「ナナメの教室」を開催



発行所
常磐南小学校
電話 46-2005
FAX 46-2048
— 第32号 —
2023.2.28

テーマ: どうすればみんなが笑顔に...

■「答えのない問い」 年輩の大人がこれまで学校で受けてきた教育は、そこにすべて答えがあり、その答えに行きつくことが勉強でした。しかし、社会に出ると、数えきれないほどの「答えのない問い」に直面し、その都度悩み、考え、判断し、行動することが求められます。さて、みなさんは、これまでにどんな「答えのない問い」に出会い、どんな答えを出してきたのでしょうか。うれしいことも、つらいことも...

昨年夏。PTAの・・・会長さんと、・・・副会長さんから、こんな申し出をいただいた。

「ときなんナナメの教室をやりたい」
ねらいは、こうだ。

『親タテの関係、友だち(ヨコの関係)とは違う地域の大人(ナナメの関係)たちが、子どもたちと一緒に答えのない問いを話し合うことで、力強く生きていく力を身に付けてほしい』

早速、5、6年生の子どもたちと大人11人で、昨年10月と今年1月に行きなんナナメの教室を開催した。

2023. 2. 28

ナナメの教室

*答えのない問いへの挑戦！

校長 都筑 祐一

それぞれ、こんな問いを投げかけた。

「なぜ勉強しなければいけないのか(10月)」

「どうすればみんなが笑顔になるのか(1月)」

さて、皆さんならどんな答えを出すだろうか。

実際の話し合いは時間とともに熱を帯び、全10グループが、用意したB紙いっぱい、意見を書き込んだ。

そもそも「答えのない問い」とはどんな問いで、私たち大人はどんな答えを出しながら、生きてきたのか。

ナナメの教室に参加した教員、保

護者に、これまでに直面した「答えのない問い」を聞いてみた。

● 高校進学。スポーツで行くか勉強か。

● PTA役員を受けるべきか否か。

● この人と結婚すべきか否か。

● 子どもにいつスマホをもたせるべきか。

● 売られたケンカを買うべきか否か。

● まもなく還暦。猫を飼ってもよいか否か。

● 親の介護をとるか仕事をとるか。両立か。

ことの軽重はあろうが、答えのない問いは、誰もが出会う生き方への問いかけでもある。

さて、1月に行われたナナメの教室はどうだったか。私が感心したのは、時間の経過とともに、着想が広がり、納得解がいくつも見えてきたことだ。正解のない問いだから、安心して自分の意見を伝えることができる。そして、周りの考えを参考に自分なりの納得解を手に入れる。

こんな意見があった。

・ 努力や苦勞の後に笑顔がある。

・ 自分がうれしかったことをしてあげる。

・ 感謝の気持ちを伝える。

・ 困っていたら助ける。

・ がんばっている人を応援する。

・ 人の笑顔は感染する。

ナナメの教室は、人生を豊かに生きるための知恵袋だ。子どもたちも大人も、考える力、伝える力、聞く力を磨く絶好の機会となった。

答えのない問いは、まだまだ続く。